

南平高等学校 令和５年度 教科 国語 科目「現代文Ｂ」 年間授業計画

教科 科:国語 科 目: 現代文Ｂ 単位数: 2単位
対象学年組: 第3学年1組～8組)
教科担当者: (1組: 松原) (2組: 笹井) (3組: 笹井) (4組: 佐藤) (5組: 笹井) (6組: 松原) (7組: 佐藤) (8組: 松原)
使用教科書: 「精選 現代文Ｂ」(大修館書店)
使用教材: 「頻出入試漢字コア2800」(桐原書店)・「読解を深める現代文単語」(桐原書店)・「論読 評論文」(浜島書店)
「巻頭増補版常用国語便覧」(浜島書店)

		指導内容	科目「現代文Ｂ」の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学期	中間 考查	導入 評論「『である』ことと『する』こと」(丸山真男) 問題演習(評論)	対比や言い換えに注意しながら、論理の展開を把握し、評論を読解する力を養う。 中世から近代への変化の特質を理解し、さらに日本の近代化の問題点を把握し、それをふまえて現代日本の課題について考察する。	小テスト・定期考査・提出課題・授業中の態度などを通して、基礎的な知識の定着、文章の理解力、表現力、主体的に学習に取り組む姿勢について評価する。	13
	期末 考查	小説「舞姫」(森鷗外) 問題演習(評論)	近代文語文を読み、その豊かな表現を読み味わう。 日本の近代化の特殊性を理解し、社会との関係(歴史的背景)に配慮しながら、人物の行動や心情を理解する。	小テスト・定期考査・提出課題・授業中の態度などを通して、基礎的な知識の定着、文章の理解力、表現力、主体的に学習に取り組む姿勢について評価する。	14
2 学期	中間 考查	評論「人を指す言葉―自称詞・対称詞・他称詞」(鈴木孝夫) 問題演習(評論)	人称代名詞を中心に日本語の表現の特徴を理解し、日本の文化の特色について考察する。	小テスト・定期考査・提出課題・授業中の態度などを通して、基礎的な知識の定着、文章の理解力、表現力、主体的に学習に取り組む姿勢について評価する。	17
	期末 考查	評論「生物多様性の恩恵」(鷲谷いづみ) 問題演習(小説)	自然科学分野に関する評論を読解することを通じ、生命や環境への認識を深める。 人物の行動や思考・心情を捉えながら読む。	小テスト・定期考査・提出課題・授業中の態度などを通して、基礎的な知識の定着、文章の理解力、表現力、主体的に学習に取り組む姿勢について評価する。	17
3 学期	学 年 末 考 査	問題演習(「共通テスト」対策)	入試問題等で、評論・小説等を、根拠を捉えて読み解く演習を行う。	小テスト・定期考査・提出課題・授業中の態度などを通して、基礎的な知識の定着、文章の理解力、表現力、主体的に学習に取り組む姿勢について評価する。	9

※授業時数や生徒の理解度また受験対策等によって、計画を変更することがある。